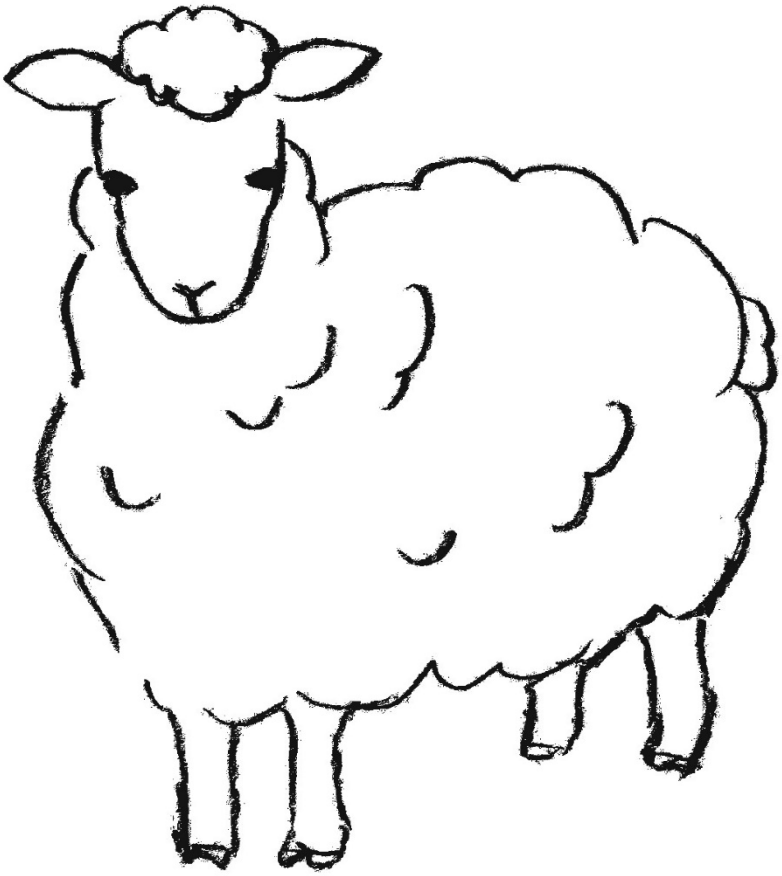
社会福祉法人　日野市民たんぽぽの会

# 幡

vol.28

「2023（令和5）年度　活動及び会計報告集」



# 『幡』　vol.28　目次

## １．巻頭言

巻頭言・・・

# 『　巻頭言　』

社会福祉法人日野市民たんぽぽの会
理事長　野田清大

みなさま、こんにちは。理事長の野田でございます。

日野市民たんぽぽの会の各事業においては新型コロナウイルス感染症流行前の状態に戻りつつあり、利用者の方々も安心して過ごされているかと考えています。

しかし、事業の運営については、これまでの形での事業運営の継続が難しくなってきたため、形を変えていく必要がある事業がでてきました。

「就労継続支援 B 型くつろぎ」につきまして、人材不足等により、利用者の方への手厚い支援に支障が出る可能性が出てきたことから、くつろぎの利用者の皆様方と改めて、今後の生活へのご希望を確認させていただき、一人ひとりのご希望に沿うように支援の見直しを行い、個別に話し合いを持ちました。法人内の就労継続支援 B 型事業である「たんぽぽひのセンター」、「たんぽぽたかはたセンター」への移籍や地域生活支援センターゆうき、他法人が運営する就労継続支援 B 型事業所、介護保険サービス、医療機関のデイケアへとご利用を移すことに至りました。また、事業を一時休止する方向で進めてきましたが、人材を確保することが難しく、2024 年 10 月末日をもって、くつろぎを廃止することになりました。

「居宅介護事業所うぃず（居宅介護、重度訪問介護）」と「訪問介護事業所ヘルパーうぃず（訪問介護）」の事業の運営については、これまでも法人内で事業の見直しと検討を重ねてきましたが、介護従事者の人材不足、財政面等の事情から、2024 年 12 月をもって、廃止する方向となっています。うぃずを利用されている利用者の方々には、一人ひとりのご希望に添えるよう、関係機関と連携し、移籍等の調整をさせていただいております。

日野市民たんぽぽの会全体での各事業の役割との見直しを行い、うぃずとくつろぎが行ってきた支援内容や培ってきたスキルを法人内で活かすことができるよう努力していきたいと考えております。

さて、障害者の就労に関して最近話題になっていることに、障害者雇用代行ビジネスがあります。農園型就労施設とも呼ばれているようです。企業は一定の割合で、障害者を雇用する義務があり、この割合が増えてきたため企業によっては雇用の割合を満たせなくなり、雇用を代行会社に依頼するところが増えてきました。仕事はゆっくりとした個々のケースに合わせたものに工夫され、障害者雇用の一つの選択肢とも考えられています。しかし会社によっては取り組み方や職場環境に違いがあり、まだまだ多くの課題を抱えています。

企業の中で障害者を雇用することにより、人口減少の中、障害者の生活の自立、社会の多様性へと繋がり、差別の解消にも繋がっていくことが本来の姿ではないのかと思っております。日野市民たんぽぽの会でも、利用者一人ひとりに合ったサービスをお届けし、多様な生き方、働き方を一緒に考えていけるよう、努めてまいります。

# 社会福祉法人日野市民たんぽぽの会　沿革

1986（昭和 61）年
11 月　「共同作業所たんぽぽの家」を利用者 6 名で開所。
1987（昭和 62）年
10 月　たんぽぽの家に対して東京都より作業所として補助金（精神障害者共同作業所通所訓練事業）が交付される。運営主体を「日野市たんぽぽの会」と命名する。
1993（平成 5）年
10 月　日野市たんぽぽの会にて「共同作業所あんだんて」を利用者 17 名で開所。
1994（平成 6）年
4 月　あんだんてに対して東京都より補助金が交付される。
1995（平成 7）年
10 月　日野市たんぽぽの会にて「共同作業所彩菜亭」を 8 名で開所。
1996（平成 8）年
4 月　彩菜亭に対して東京都より補助金が交付される。
1997（平成 9）年
12 月　「社会福祉法人日野市民たんぽぽの会」が認可される。
「日野市たんぽぽの会」を「あんだんての会」と改名する。
1998（平成 10）年
3 月　「共同作業所たんぽぽの家」閉所。
4 月　「通所授産施設たんぽぽの家」開所。
10 月　「地域生活支援センターゆうき」開所。
2000（平成 12）年
5 月　あんだんての会にて「共同作業所くつろぎ」開所。
2001（平成 13）年
10 月　くつろぎに対して日野市より補助金が交付される。
11 月　「ホームヘルパー2 級養成講座」を東京都より認可を受け開講。
2002（平成 14）年
10 月　「精神障害者ホームヘルプサービス事業（うぃず)」開始。
「精神障害者グループホームヴィレッヂたんぽぽ」開所。
あんだんてと彩菜亭が小規模通所授産施設へ移行。くつろぎも含めて社会福祉法人日野市民たんぽぽの会の運営となる。
12 月　あんだんての会解散。
日野市より「高齢者生活管理指導員派遣事業」をゆうきが受託。
2003（平成 15）年
1 月　「精神障害者ホームヘルパー養成講座」を東京都より認可を受け開講。
2004（平成 16）年
9 月　日野市より「精神障害者緊急在宅サポート事業」をゆうきが受託。

2005（平成 17）年

10 月　日野市の精神障害者社会的自立支援事業による生活指導員派遣依頼が実施。

2006（平成 18）年

4 月　うぃずが東京都より認可を受け障害者自立支援法（居宅介護事業他）へ、ヴィレッヂたんぽぽが東京都より認可を受け障害者自立支援法（共同生活援助事業）に移行。

6 月　介護保険事業として「ヘルパーセンターうぃず」と「ケアマネジメントセンターうぃず」が東京都より認可を受ける。

10 月　地域生活支援センターゆうきが日野市より委託を受け、障害者自立支援法による地域活動支援センターと指定相談事業に移行。

2007（平成 19）年

11 月　日野市障害福祉人材育成事業を受託。

2009（平成 21）年

7 月　社団法人日野市勤労者福祉ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰより「メンタルヘルスケア事業」を受託。

10 月　日野市より生活保護「金銭管理プログラム支援事業」及び「健康管理プログラム支援事業」を地域生活支援センターゆうきが受託。

2010（平成 22）年

1 月　通所系 4 施設の事業所機能の見直しを行う。

2011（平成 23）年

11 月　「小規模通所授産施設あんだんて」及び「小規模通所授産施設彩菜亭」閉所。

12 月　「就労継続支援 B 型事業たんぽぽひのセンター」開所。

2012（平成 24）年

3 月　「通所授産施設たんぽぽの家」及び「共同作業所くつろぎ」閉所。

4 月　「就労移行支援事業わーく」、「就労継続支援 B 型事業たんぽぽたかはたセンター」、「就労継続支援 B 型事業くつろぎ」開所。

地域生活支援センターゆうきが「指定特定相談支援事業者」の指定を受ける。

5 月　地域生活支援センターゆうきが「指定一般相談支援事業者」の指定を受ける。

2018（平成 30）年

5 月　「就労移行支援事業わーく」休止。

8 月　「ケアマネジメントセンターうぃず」休止。

2019（令和元）年

5 月　「就労移行支援事業わーく」事業廃止。

「ケアマネジメントセンターうぃず」事業廃止。

6 月　「就労継続支援 B 型事業くつろぎ」、「共同生活援助ヴィレッヂたんぽぽ」移転。

2021（令和 3）年

3 月　日野市障害福祉人材育成事業受託終了。

# 社会福祉法人 日野市民たんぽぽの会　本部

# 2023(令和 5)年度　事業報告

１．理事会開催内容

| | 開催日 | 会場 | 主な内容 |
|---|---|---|---|
| 1 | 2023 年<br>6 月 7 日 | たんぽぽ<br>ひのｾﾝﾀｰ | (報告事項)<br>理事長業務執行状況報告<br>（協議事項）<br>各事業の 2022 年度事業報告・決算報告、ヴィレッヂたんぽぽ運営規程の変更案、決算・計算関係書類及び財産目録等、社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画案、監事監査結果報告、就業規則の改訂案、寄附金受付の様式変更について、次期理事・監事評議員候補者の推薦、評議員選任・解任委員会の開催について、定時評議員会の招集について |
| 2 | 2023 年<br>6 月 24 日 | たんぽぽ<br>ひのｾﾝﾀｰ | (協議事項)<br>理事長の選任について |
| 3 | 2024 年<br>3 月 26 日 | WEB<br>会議<br>(Zoom) | (報告事項)<br>理事長業務執行状況報告<br>（協議事項）<br>2023 年度の本部、たかはた、ひの拠点区分の各補正予算案、各事業の 2024 年度事業計画案・各拠点区分の予算案、たんぽぽたかはたセンター施設設備等整備積立金の取崩、うぃず人件費積立金の取崩、たんぽぽひのセンター施設設備等整備積立金の取崩について、ヴィレッヂたんぽぽ運営規程の変更案、くつろぎ(就労継続支援 B 型事業)の休止について |

２．評議員選任・解任委員会開催内容等

| | 開催日 | 会場 | 主な議案内容 |
|---|---|---|---|
| 1 | 2023 年<br>6 月 22 日 | たんぽぽ<br>たかはた<br>ｾﾝﾀｰ | 評議員の選任について |

３．評議員会開催内容

| | 開催日 | 会場 | 主な内容 |
|---|---|---|---|
| 1 | 2023 年<br>6 月 24 日 | たんぽぽ<br>ひのｾﾝﾀｰ | (報告事項)<br>2022 年度事業報告、監事監査結果報告<br>(協議事項)<br>決算・計算関係書類及び財産目録等<br>社会福祉充実計画案<br>理事・監事の選任について |

４．法人が運営する事業

第２種社会福祉事業

障害者福祉サービス事業：　就労継続支援 B 型事業　たんぽぽたかはたセンター
就労継続支援 B 型事業　たんぽぽひのセンター
就労継続支援 B 型事業　くつろぎ
共同生活援助　ヴィレッヂたんぽぽ
居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護　うぃず

地域活動支援センター：　地域生活支援センターゆうき
一般相談支援事業：　地域生活支援センターゆうき
特定相談支援事業：　地域生活支援センターゆうき
移動支援事業：　うぃず
老人居宅介護等支援事業：　ヘルパーセンターうぃず

＊2023 年 4 月 7 日付法人の事業の変更について登記終了、公益事業は廃止

公益事業

日野市障害福祉人材育成事業・・・2020 年度　日野市からの委託が終了
2021 年度　預金口座の管理を終了
2023 年 3 月 30 日付定款変更の認可

＊うぃず　障害福祉サービスの指定の一部廃止

同行援護・・・2023 年 9 月 8 日
行動援護・・・2024 年 2 月 29 日

＊会計の拠点区分

| 本部拠点 | 法人本部 |
|---|---|
| たかはた拠点 | たんぽぽたかはたセンター(就労継続支援 B 型)<br>地域生活支援センターゆうき(地域活動支援・一般相談支援・特定相談支援)<br>うぃず(居宅介護(障害)、行動援護(障害)、同行援護(障害)、重度訪問介護(障害)、移動支援(障害))<br>ヘルパーセンターうぃず(訪問介護(介護)) |
| ひの拠点 | たんぽぽひのセンター(就労継続支援 B 型)<br>くつろぎ(就労継続支援 B 型)<br>ヴィレッヂたんぽぽ(共同生活援助) |

５．その他

〇法人監事監査実施日：　2023 年 5 月 23 日(会計)、5 月 25 日(事業運営その他)
〇法人情報の公開：　ホームページ　http://www.hinoshi-tanpopo.jp/
リニューアル公開　2024 年 4 月 22 日
〇「幡」の編集・発行:　2023 年 10 月 15 日付で発行
〇たんぽぽひのセンター建物の使用貸借について
プロポーザルに応募　2023 年 11 月 24 日
審査　2023 年 12 月 25 日付決定
契約　2024 年 3 月 1 日から 30 年

〇地域生活支援センターゆうき　市からの委託費の消費税について

・2023年10月4日付、消費税課税対象であるという国の通達が発行、日野市と非課税事業の契約を交わしていたことを受け、消費税を5年間に遡り支払、延滞金の支払を行う。

・2023年11月30日消費税5年分支払、2024年1月11日延滞金支払

〇新型コロナウィルス感染拡大防止のための対策等の実施

・各事業での感染防止対策の徹底、事業・活動の内容の見直しと拡充を図る

・管理責任者会議や職員会議等で、WEB会議の導入(Zoomの使用)

〇日野市民たんぽぽの会の中・長期的計画について(継続協議)

・法人事業の展開について見直し、改善等について、職員会議、管理責任者会議で、継続協議中

(障害福祉サービス及び介護保険サービスの在宅支援事業の継続に関する等も含む)

〇精神障害者民間借上住宅支援事業(法人独自事業)・・・現在、利用実績 0 名

〇第三者評価の受審

| | |
|---|---|
| たんぽぽたかはたセンター | 2024 年 1 月 29 日 |
| たんぽぽひのセンター | 2024 年 1 月 17 日 |
| くつろぎ | 2024 年 1 月 11 日 |
| ヴィレッヂたんぽぽ | 2024 年 1 月 26 日 |

# 就労継続支援Ｂ型事業所　たんぽぽたかはたセンター

# 2023(令和 5)　年度事業報告

１．運営
１）通所者利用状況（定員 40 名）
・利用者総数（2023 年 4 月～2024 年 3 月）　34 名
・在 籍 者 数（2024 年 3 月末）　32 名
・年間延べ人数　4,297 名　開所日数　243 日　平均利用者数 17.6 人／日
・新規登録者数　3 名
・退所者数　4 名（介護保険ｻｰﾋﾞｽ利用 1 名　その他 3 名）
２）職員体制
・管理者、サービス管理責任者　1 名
・生活支援員　常勤職員 1 名　非常勤職員 1 名
・職業指導員　非常勤職員 4 名　・目標工賃達成指導員　非常勤職員 1 名
・資格取得　精神保健福祉士 2 名　社会福祉士 1 名
３）開所日時
・週 5 日制（土日及び祝祭日は原則として休み）
・利用者：月曜日～金曜日　9 時 10 分～17 時 00 分
・職　員：月曜日～金曜日　9 時 00 分～18 時 00 分

２．財源の確保
・訓練等給付費
・補助金（東京都、日野市）
・利用者負担金　他

３．プログラム
１）就労支援プログラム
・弁当事業：事業所及び地域住民への弁当作成及び配食事業
　弁当作成に関する調理、仕入、在庫管理、会計 他
・下請事業：ダイレクトメールの封入、作業資材搬出入、資材管理 他
・工賃支給総額　3,632,317 円　・平均工賃月額　17,120 円
２）その他
・全体ミーティング

４．健康管理
・日野市特定健診
・細菌検査

５．関係機関との連携
・地域生活支援センターゆうき、日野市障害福祉課、生活福祉課、高齢福祉課、包括支援センター、居宅介護支援事業所、七生特別支援学校他

６．研修
・相談支援研修、障害者差別解消研修、防災研修、虐待防止、身体拘束適正化研修、権利擁護研修、情報セキュリティ、個人情報保護研修

７．虐待防止対応
・虐待防止対応規程の制定（2022 年 4 月）及び虐待防止対応マニュアルの整備
・虐待防止委員会及びリスクマネジメント委員会の開催
・虐待防止対応に関する研修の実施

８．その他
・安全管理、防災管理点検の実施
・特定建築物定期調査実施　2023 年 10 月 2 日行政報告済
・建築設備定期検査実施　　2023 年 10 月 2 日行政報告済
・防火設備定期検査実施　　2023 年 10 月 4 日行政報告済
・七生特別支援学校からの体験実習の受け入れ 2 名
・防災訓練の実施
・「福祉サービスに関する苦情解決への申し出」に対する受付なし
・第三者評価受審　2024 年 1 月 29 日

９．総括
１）事業所運営
・2023 年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みの継続を中心とした中での運営となりました。
通所時の検温、マスク着用、手指消毒の徹底、換気、館内消毒、作業等で使用した物すべて毎回消毒等の徹底した感染予防対策を行いました。
・コロナが 5 類に移行したことで、コロナ前の状態に少しずつ戻しています。コロナ禍の際には完全に午前午後と分けた活動を行っていたものを、1 日通して過ごせるよう、昼休みも過ごせるようにし、自由に会話が出来るような時間も取れるようにしてきています。
２）利用者
・2023 年度は 33 名の利用者でスタートし、新規登録者 3 名、退所者 4 名。1 日あたりの平均利用者数は 17.6 人の利用がありました。
・利用者やその家族、関係機関等と面談やケースカンファレンス等を通じ、利用目的、疾病や障害による生活のしづらさ等を確認し本人の役割、関係機関等の役割、事業所の役割を明確にして個別支援計画を作成しました。
３）就労支援プログラム
A. 弁当事業（時給 430 円）
・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、利用者プログラムとして、実際の配達や会計といった作業は行わず、厨房内で午前は弁当の盛り付け中心、午後は片づけ中心とした若干縮小した形ではありましたが、1 日通して作業に入れる枠、午前のみ午後のみの枠、数時間の枠など様々な作業への入り方を工夫しながら進めました。また、工賃向上を意識し、注文食数を少しずつ増やす事を行いました。
B. 下請事業（時給 140 円）
・昨年度に引き続き感染予防対策として、一人一席の作業机、間隔を空けての配置で進めました。
・個別の座席、対面ではないレイアウトにした事で集中して作業に取り組めるという効果が生まれています。
・1 日通して作業に入れるようにしましたが、数年間作業時間短縮期間があったため、なかなか踏み出せずにいる方も多く、気力体力をあげている最中といった状況です。
C. 就労支援講座
・今年度は感染拡大予防の為講座としては中止とし、個別ケースでの対応としました。

４）福祉サービス第三者評価の受審
・評価機関　一般社団法人チーム結
・受審日　　2024 年 1 月 29 日
・全体の評価講評結果
A）特に良いと思う点
①自立とは「自分で気づける事が増える事」と職員は考えており、個別性に重視した取り組みを行っています。
②個別支援計画は課題だけではなく「本人の役割」と「できている点」も明記して目標達成に向けた取り組みを支援しています。
③仕事を行う就労場所というだけではなく、自分自身を整えていく所として事業所の使命を果たすべく取り組んでいます。
B）さらなる改善が望まれる点
①ホームページは情報収集のツールとして有効なものであることから、早期リニューアルが期待されます。
②利用者の状態を職員全体で共通理解をもち、モニタリングで検証できるよう記録の充実を図ることが期待されます。
③事業所にあったツールを模索・活用する事で職員間の情報共有を行える仕組みの工夫も期待されます。

# 就労継続支援Ｂ型事業所　たんぽぽひのセンター

# 2023(令和 5)年度　事業報告

１．運営
１）利用者状況（定員 40 名）
・利用者総数（2023 年 4 月～2024 年 3 月）　31 名
・在 籍 者 数（2024 年 3 月末）　30 名
・年間延べ利用者数　4700 名　　開所日数　243 日　　平均利用者数　19.3 人／日
・新規登録者数　0 名
・退所者数　1 名
２）職員体制
・管理者、サービス管理責任者　　1 名
・生活支援員　　常勤職員 1 名　　非常勤職員 1 名
・職業指導員　　非常勤職員 3 名
・資格取得　　精神保健福祉士 3 名
３）開所日時
・週 5 日制（土日及び祝祭日は原則として休み）
・利用者：月曜日～金曜日　9 時 10 分～17 時 00 分
・職　員：月曜日～金曜日　9 時 00 分～18 時 00 分

２．財源の確保
・訓練等給付費
・補助金（東京都、日野市）
・利用者負担金　他

３．プログラム
１）就労支援プログラム
・ダイレクトメール作成、マンション清掃、資材管理、館内清掃　他
・工賃支給総額　2,554,197 円　　・平均工賃月額　11,029 円
２）その他
・全体ミーティング

４．健康管理
・日野市特定健診
・個別健康相談

５．関係機関との連携
・地域生活支援センターゆうき、日野市障害福祉課、生活福祉課、高齢福祉課、包括支援センター、居宅介護支援事業所他

６．研修
・法人内部研修
相談支援研修、障害者差別解消研修、防災研修、虐待防止・身体拘束適正化研修、権利擁護研修、情報セキュリティ・個人情報保護研修
・外部研修
「障害者虐待防止、権利擁護研修」（東京都）

７．虐待防止対応
・虐待防止対応規程の制定及び虐待防止対応マニュアルの整備
・虐待防止委員会及びリスクマネジメント委員会の開催
・虐待防止対応に関する研修の実施

８．その他
・安全管理、防火管理点検の実施
・ボランティアの受け入れ
・精神保健福祉援助実習学生（2 名）の受け入れ
・防災訓練の実施
・「福祉サービスに関する苦情解決への申し出」に対する受付なし

９．総括
１）利用者
・2023 年度は 31 名の利用者でスタート。新規利用者はなく、1 名の方が退所されました。2023 年度の 1 日あたりの平均利用者数は 19.34 名でした。
・利用者の人数に大きな変動はありませんでしたが、新規利用者の確保という点は今後の課題として挙げられます。
・利用者やその家族、関係機関等と面談等を通じて利用目的、疾病や障害による生活のしづらさ等を確認し本人の役割、関係機関等の役割、事業所の役割を明確にして個別支援計画を作成しました。その個別支援計画に基づいて所属するグループを本人と共に確認し、その中で同じような目標を持った方たちがお互いに刺激しあい目標に向けて活動しています。
２）就労支援プログラム
・2023 年度もダイレクトメール作成、庁内作業を中心に、マンション清掃プログラムの提供を行いました。マンション清掃プログラムは現在 3 名の利用者の方が作業に従事しています。
・ダイレクトメール作成、庁内作業をたんぽぽひのセンター中心で行う体制にしてから約 3 年が経過しました。就労支援プログラムに継続して参加することで利用者の方々の作業能力も向上しています。そのため作業受注量も増加しており、作業収入も前年度から増収となっています。
・就労支援プログラムとして安定した作業の提供ができる体制は取れています。次年度も安定した作業の受注を行いながら、増収や工賃アップに向けて取り組んでいきます。
３）事業所運営
・使用している建物（日野栄町二丁目アパート）の契約が 2024 年 2 月で終了することに伴い、2024 年 3 月からの利用について日野市がプロポーザル公募を実施したためその公募に応募。審査の結果、引き続き利用することができることになりました。
・経費の節減や事務処理の効率化、利用者支援の充実へ向けて取り組みました。
・事業継続計画（BCP）の作成を行いました。
・2023 年度も感染症予防対策の一環として、利用者作業机、ロッカーの消毒、換気、手指消毒、マスクの着用等の感染症対策を取り入れながら事業を継続しました。利用者の皆様も手洗い等の習慣が身についてきており、良い影響が出てきています。

４）福祉サービス第三者評価の受審
・評価機関　一般社団法人チーム結
・受審日　　2024 年 1 月 17 日
・全体の評価結果
A）特に良いと思う点
①個別支援計画は利用者本人の支援のための計画書であり、利用者が通所する目的を意識できるよう支援しています
②自立した生活を送るためにも、利用者が自身で考え、判断し、発信できるようなコミュニケーションの工夫をしています
③利用者の現状や目標、持っている能力など、それぞれが力を発揮できるような環境づくりに努めています
B）さらなる改善が望まれる点
①ホームページは情報収集のツールとして有効なものであることから、早期のリニューアルが期待されます
②口頭での伝達で現在の業務を遂行できていますが、標準化の視点で情報を可視化することも期待されます
③利用者に関する記録は、情報量・内容ともに課題を感じているため、モニタリングの際など有効活用できるよう今後の工夫が期待されます

## 就労継続支援Ｂ型事業所　くつろぎ

# 2023(令和 5)年度　事業報告

１．運営
１）利用者状況（定員 20 名）
・利用者総数（2023 年 4 月～2024 年 3 月）　18 名
・在 籍 者 数（2024 年 3 月末）　17 名
・年間延べ利用者数　2189 名　開所日数 243 日　平均利用者数 9.0 人／日
・新規利用者数　1 名
・退所利用者数　1 名（身体的な長期入院）
２）職員体制
・管理者、サービス管理責任者　1 名
・生活支援員　常勤職員 1 名
・職業指導員　非常勤職員 1 名
・資格取得　精神保健福祉士 3 名、社会福祉士 1 名
３）開所日数
・週 5 日制（土日及び祝日は原則として休み）
・利用者：月曜日～金曜日　9 時 30 分～17 時 00 分
・職　員：月曜日～金曜日　9 時 00 分～18 時 00 分

２．財源の確保
・訓練等給付費
・補助金（東京都、日野市）
・寄付金

３．プログラム
１）就労支援プログラム
・製造作業：年賀状、アメリカンたわしの製造販売
・下請作業：ダイレクトメール作成他
・工賃支給総額　372,023 円　・平均工賃月額　3,407 円
２）その他
・ミーティング、清掃、買い物、“人との係り方”など生活に係る訓練

４．健康管理
・日野市特定健診
・個別健康診断、相談（通院医療機関）

５．関係機関との連携
・地域生活支援センターゆうき、日野市障害福祉課、生活福祉課、高齢福祉課、包括支援センター、居宅介護支援事業所　他

６．研修等の参加
・外部研修
「医療・福祉事業所内メンタルヘルスセルフケア研修」（東京都福祉保健局）
「障害福祉サービス等事業者に対する経営管理研修」（公益財団法人東京都福祉保健財団）
「若年性認知症介護・障害事業所向け研修会」（東京都福祉保健局）

・法人内部研修
相談支援研修、障害者差別解消研修、防災/感染研修、虐待防止、身体拘束適正化研修、権利擁護研修、情報セキュリティー・個人情報保護研修

７．虐待防止対応
・虐待防止チェックリストの実施
・虐待防止委員会及びリスクマネジメント委員会の開催
・虐待防止対応に関する研修の実施

８．その他
・安全管理、防火管理点検の実施
・防災訓練の実施
・「福祉サービスに関する苦情解決への申し出」に対する受付なし

９．総括
１）利用者
・年度当初は 17 名の利用者でスタートし、新規登録者 1 名を 6 月に迎え、3 月に退所者が 1 名あり、3 月末時点で、17 名の方が在籍しています。新規登録者 1 名は、他事業所をやめたが働きたい、ハリを持った生活がしたいと希望された方。退所者の方は身体的な理由から長期入院となってしまいました。通所日数や作業時間を増やすことにチャレンジしながら、主体性をもって通所されています。一日の平均利用者数は昨年の 8.9 名から 9.0 名となりました。
・主体的な生活と自己実現を目指し、利用者一人ひとりの特性、生活のしづらさ、自立に向けての意欲・希望・能力、ご家族の希望を把握し、サービス等利用計画やセルフプランと連動した個別支援計画を作成し、支援者で共有して支援を実施しました。
・昨年度同様に、コロナ禍による低下した活動量、体力の回復のため個々の体調に合わせた通所日数や時間等の調整、環境の整備をしました。
・ひとりの利用者から“もっとコミュニケーションを取りたい”と始めた挨拶活動は今年度も広がりを見せ、利用者同士の挨拶の交わし合いから会話へ、主体性をもった作業中の対応（「手伝います」や「手伝ってください」等の声掛け）が出来るなど、苦手と思っていたコミュニケーションのハードルが低くなってきました。今後も挨拶活動を続けながら、社会参加や生活の質、人との係り方を向上させ自信をつけていく場の提供をしていきます。
２）就労支援プログラム
・下請作業や製造作業を通して、お仕事の楽しさや満足感、達成感を感じられ、苦手とされる方が多いコミュニケーションをとれやすくするよう、作業内容や工程を検討し工夫することでプログラムの活性化に取り組みをつづけています
・工賃アップに向けた取り組みでは、利用者の作業能力向上もあり下請け作業を昨年度より沢山うけることが出来ました。製造製品（アメリカンたわし）では、地域のイベントに出店させていただきました。
・生活訓練を兼ねた就労プログラム立ち上げの足掛りとして、利用者主体で庭を利用した活動（園芸部で野菜や花を作る）やイベント（お祭り、初詣、くつろぎ周辺の散策、掃除、買い物）を行いましたが、プログラムの立ち上げには至りませんでした。

３）事業所運営

・経費の節減や事務処理の効率化、各研修への参加、第三者評価結果に基づいた利用者支援の充実へ向けて取り組みました。

・自然災害発生時における業務継続計画の作成。見直し及び備品整備を行いました。

・昨年度よりセルフプラン利用者の受け入れを開始しており、今年度は 1 名の方が利用されました。

・感染予防対策について、施設内除菌や手洗いうがいは継続して実施し、飛散防止防止用のアクリル板についても、利用者アンケートにより設置継続希望者多数により設置を継続しています。

４）福祉サービス第三者評価の受審

・評価機関　一般社団法人チーム結

・受審日　　2024 年 1 月 11 日

・全体の評価結果

A）特に良いと思う点

①利用者の『頑張る』気持ちや『やってみる』意欲を引き出すことができるよう支援しています

②当事業所の役割と支援の方向性を共有し、軸のブレない運営が行われています

③利用者のアイデアを取り入れたイベントの開催を通じて、行動していく力をつけられるような機会づくりを支援しています

B）さらなる改善が望まれる点

①5 ヶ年計画と単年度計画は連動を意識するとともに重点目標を明確にして取り組むことが期待されます

②ホームページは情報収集のツールとして有効なものであることから、早期のリニューアルが期待されます

③人事考課は職員育成の一つとのことから、職員自身が自分の課題を把握しやすくなるよう整理することも期待されます

# 地域生活支援センター ゆうき

## 障害者等相談支援事業及び相談支援機能強化事業

## 2023(令和 5)年度　事業報告

１．運営
１）対象地域　日野市
２）職員体制　常勤職員 3 名　　非常勤職員 4 名
３）開所日時　月曜日～金曜日　9 時 30 分～17 時 30 分
＊ただし、祝日及び 12 月 29 日～1 月 3 日は休館日、その他臨時休館日）
４）利用対象　日野市在住者で、主として心の病の方及び家族、関係機関
継続での相談や地域活動支援センター事業の併用利用希望時は会員登録制

２．財源
・障害者総合支援法による指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業・地域活動支援事業（Ⅰ型）を一体的に運営し、日野市からの受託（委託契約費等）による

３．サービス内容
１）障害者等相談支援事業の実施
・面接、電話、訪問による個別相談を実施、面接や訪問については、原則として予約制で行っています。メールや ZOOM、時間外などの相談は、主として登録会員を対象に、個別の状況に応じて柔軟に対応しています。
・以下の内容について、個別の状況に合わせ、必要な相談やサポートを行っています。
①障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス等の利用にかかる情報の提供や相談等
・必要なサービス等に関する資料の手渡し、事業所への問い合わせ、見学同行等を行い、利用したいサービス、事業所と当事者の方の希望や動機等について、話し合います。
②各種の支援施策を含む社会資源の活用等
・必要な制度や社会資源等の情報提供、利用・手続き等に関する問い合せ、同行等について、当事者の方のサポートをします。
③社会生活力の向上（エンパワーメント）
・面接や地域活動支援センター事業の利用等を通して、様々な生活に必要なマナーやスキルの習得、将来の目標・目標達成の意識・動機づけ、モチベーションの維持・向上のサポートをします。また、自己マネジメント力(セルフコントロールや連絡調整能力等)の向上のため、元々の能力を発揮できるよう、必要且つ限定したサポートを配慮しています。
④ピアカウンセリング
・「ピアカウンセリング」自体は実施していません。
当事者の方の経験や体験を発表する場の提供、協力のサポートをしています。現状では地域活動支援センター事業のオープンスペースにおいては、当事者の方同志の情報交換、互いに相談し合う等のことが自然に形成される場になるように努めています。
【当事者ボランティア登録】
・当事者の方の希望による登録制
・当事者の体験談などの発信・発表の機会の創出等
・外部から当事者への依頼の受付と登録している希望者との調整
・2021 年度以降、2 名登録

⑤権利擁護
・日常生活における日々の判断、危機的な状況における対応や判断等、当事者が物事を決める為に、当事者の障害特徴に合わせた説明の工夫や理解の方法等についてのご相談をします。ただし、代理で決定することは出来ませんので、必要時には、成年後見人や権利擁護事業等へのつなぎのサポートをします。
⑥援助のネットワーク作りや連携、必要時に専門機関へのつなぎ等
・当事者の個別の状況や必要性により、医療機関や関係機関との連絡調整、連携等を図ります。
⑦就職活動や就労定着等
・就職に関する情報提供や就職に関する色々な相談、応募書類等の作成の支援、ハローワークとの連絡調整・連携、ハローワークへの同行、必要時には、職場との連絡調整、職場訪問等を行います。また、必要時には、就労支援センターその他の機関への相談・繋ぎをサポートします。
⑧その他、自立した日常生活又は社会生活に必要なこと
・必要時には、部屋の掃除や片付け、家計簿の記入、家計相談等、家事に関するサポートを行います。また、退院後の地域での生活についての相談を行います。

＊利用実績

| 年間延べ相談利用者数 | 年間開所日 | 1日当たり相談利用者数 | 年間延べ利用者数　内訳 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 電話 | 面接 | 訪問 | メール | その他 |
| 9,315名 | 243日 | 38.3名 | 3,799 | 2,258 | 1,692 | 1,470 | 96 |

２）特定相談支援事業
・相談支援専門員が障害福祉サービス等の利用にかかる様々な相談支援を行います。
・サービス等利用計画案・サービス等利用計画及び継続サービス利用支援（モニタリング報告書）の作成をし、市役所に提出します。

＊2024年3月末現在　計画相談利用者実人数

| 継続 | 2023年度新規 | 2023年度終了 |
|---|---|---|
| 82名 | 2名 | 5名 |

※2013（平成25）年度から開始、総実人数170名

＊計画相談 2023年度の年間請求件数

| 計画 | モニタリング | 合計 |
|---|---|---|
| 35件 | 139件 | 174件 |

３）一般相談支援事業
・地域移行、地域定着支援利用者実績：0名（障害者等相談支援事業の相談支援のなかで対応）

４）関係機関との連携及び市町村相談支援機能強化事業
（有資格配置）　社会福祉士1名、精神保健福祉士3名、看護師1名、保健師1名
相談支援専門員3名
東京都精神障害者地域移行促進事業における地域移行関係職員に対する研修（精神障害関係従事者養成研修）修了した相談支援専門員1名
介護支援専門員1名、介護福祉士1名
①専門的な相談支援を要する困難ケース等の対応
・医療、高齢、児童等、他の機関との連携を特に要するケース等があります。

②日野市地域自立支援協議会を構成する指定特定相談支援事業者又は指定一般相談支援事業者に対する専門的な指導・助言など
・必要時に、相談や助言等を行います。
③障害者等相談支援事業の業務を遂行するため、必要に応じて関係機関を集め、連絡調整会議等の開催
・個別ケースにおいて、ケア会議及び連絡調整等を行います。
・ゆうき連絡協議会を開催し、当事業が円滑に実施出来るよう、関係機関と様々な課題を協議しています。
＊実績

| 年間延べケア会議開催数 | 年間延べ連絡／調整件数 |
|---|---|
| 79 | 129 |

５）その他の事業
・関係機関との連絡調整、地域ボランティアの育成、障害に対する理解促進を図るための普及啓発などの活動を行っています。
・市民のボランティアの受け入れや相談・調整の実施
・「こころの健康ガイドブック」の配布と改訂、パンフレットの配布

（１）委託事業
①精神障害者緊急在宅サポート事業の受託

| | 利用実人員 | 延べ利用者数 | 支援回数 |
|---|---|---|---|
| 合計 | 0 | 0 | 0 |

②生活保護金銭管理・家計相談支援事業の受託

| | 利用実人員 | 延べ利用者数 | 支援回数 | 時間 |
|---|---|---|---|---|
| 合計 | 329 | 2,937 | 2937 | 948.1 |

③生活保護健康管理支援事業の受託

| | 利用実人員 | 延べ利用者数 | 支援回数 | 時間 |
|---|---|---|---|---|
| 合計 | 167 | 1,515 | 1,515 | 1,155.9 |

（２）関係機関との連携
・日野市、南多摩保健所、多摩総合精神保健福祉センター、日野精神障害者家族会「いずみ会」、日野市社会福祉協議会、日野市内・市外の関係する医療機関、ハローワーク八王子、東京障害者職業センター多摩支部、包括支援センター、他障害施設及び介護保険事業に関係する各事業所等と必要時に連携を図ります。

≪参加会議等≫
・ゆうき連絡協議会主催（年 5 回、7/27、施設見学ツアー＜11/14、11/21、11/24＞、2/2）
・とうきょう会議 地域生活支援センター部会への加盟
・日野市地域自立支援協議会（本会）（年 2 回　5/8、2/19）
・日野市地域自立支援協議会　相談支援部会
（年 6 回開催、5/25、7/20、9/14、11/16、1/11、3/14）
・日野市障害者差別解消支援地域協議会（年 2 回　7/27、10/31）
・日野市精神障害者等支援協議会（年 4 回　7/26、9/28、12/25、1/23）
・わがまる福祉支援体制強化事業事例検討協議会・ヤングケアラー支援事業検討協議会
（年 2 回　11/22、2/14）

・日野市障害者計画等策定委員会（年 4 回　8/21、10/2、11/6、2/5）
・障害支援区分判定等審査会
・その他の会議等

（３）講師の派遣
・地域及び機関への講師などの派遣協力を行います。

（４）その他
・日野市障害者差別解消推進条例に基づく障害を理由とする差別に関する相談窓口
・中小企業勤労者のメンタルヘルス事業「こころの相談・あんしんホットライン」
（相談のべ件数：2 件）

４．研修
１）内部研修：ケースカンファレンス等を持ち、相談支援のスキルアップを図ります。
ピアスーパービジョン、法人内部の研修への参加を行います。
２）外部研修：東京都精神障害者地域移行促進事業における地域移行関係職員に対する研修に参加を行います。
・地域移行関係職員に対する研修（1 名）
・東京都相談支援従事者専門コース別研修（2 名）
・東京都精神障害計画相談支援従事者等養成研修（1 名）

５．感染予防への対策・対応等について
【対策・対応】
・検温、手洗い、うがい、マスクの着用の徹底、手指消毒剤を各部屋等に設置しています。
・各室で、換気の確保、空気清浄機の常時設置、アクリル板の設置（年度途中で一部撤去）、館内の清掃・消毒の徹底を実施しています。
・来所者には検温の協力を依頼し、体調把握に努めています。
・基本的な感染予防対策を継続し、寄付品のマスク配布等を実施することにより、感染予防に対する意識の維持に努めています。
・登録会員向けのおたよりの編集に際して、安心して来所できるよう、相談し易くなるよう、内容の工夫（例えば、カラー印刷頁の増など）を図っています。
・職員についても、毎日の検温、手洗い、うがい、マスク（不織布）着用を徹底しています。

# 地域生活支援センター ゆうき

## 地域活動支援センター事業

## 2023(令和 5)年度　事業報告

１．運営
１）対象地域　日野市
２）職員体制　常勤職員 3 名　　非常勤職員 4 名
３）開所日時　月曜日～金曜日　9 時 30 分～17 時 30 分
＊ただし、祝日及び 12 月 29 日～1 月 3 日は休館日、その他臨時休館日
４）利用対象　日野市地域生活支援事業利用者証の受給者及び主として心の病の方で
ゆうき会員登録をされた方

| 今年度会員登録者数 | 更新 | 新規登録 | 再登録 |
|---|---|---|---|
| 124 名 | 110 名 | 11 名 | 3 名 |

＊地域生活支援センター開設からの登録者　延べ人数　500 名

２．財源
・障害者総合支援法による指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業・地域活動支援事業（Ⅰ型）を一体的に運営し、日野市からの受託（委託契約費等）による

３．サービス内容
１）基礎的事業
・地域生活を送る上での様々な活動（創作的活動、生産的活動の機会の提供等）や社会との交流等の支援を進めるための活動を実施しています。
＊利用実績（詳細は別紙を参照）

| 年間延べ利用者数 | 年間開所日 | 1 日当たり利用者数 | 年間延べ利用者　内訳 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | オープンスペース | プログラム |
| 4,616 名 | 243 日 | 18.9 名 | 1,933 | 2,683 |

（１）オープンスペース: 9 時 30 分～16 時 30 分まで（12 時～13 時のみ食事可能）
内容　気軽に、自由に過ごす居場所、生活リズムを整える目的や他者との交流を図る等
お茶の提供
（２）プログラム活動の実施
内容　社会生活能力の維持・向上、活動の幅を広げる等のステップアップ、活動を通してのコミュニケーションの練習及び対人スキルの能力の向上を目指す等の目的で、各プログラムを実施しています。
・創作活動（利用者の方が主体的に参加出来るよう実施）
開所日: イラスト描き、塗り絵、折り紙、フェルトマスコット作り、刺し子、メモ紙切り、雑巾づくり、ペン習字、パソコン入力作業（ワード・エクセル）等
・ウェルカムボード作り（テーマに沿った創作活動）
月 5 日間実施：テーマに沿って個別に創作し、翌月のウェルカムボードの装飾等
・おたよりの発送作業（月 1 回実施）
折り作業、封入・封かん作業
・編み物（ボランティアの方に講師を依頼、月 1 回実施予定）
実施回数: 11 回（9 月は休み）

・生活に関する講座　「みんなで学ぼう」
個別対応の講座として実施（資料配布と説明、動画視聴、体験等）
実施回数３回：　６月「冷凍食品を使って、電子レンジ調理をしよう！」
９月「自分でできる安全対策
～身を守るために知っておくと安心なこと～」
２月「気になる健康、気にしよう健康
～疲れを溜め過ぎない、健康的な生活を過ごすために～」
・その他のプログラム
【お楽しみイベント（個別参加型）】
実施回数２回：　７月～８月「夏のお楽しみ」
（花火の壁面飾り、おまけ付きミニゲーム）
12 月「ハッピークリスマス」
（クリスマス壁面飾り、プチプレゼント）
【お散歩月間】
実施回数２回：　５月１回　11 月９回
【その他】
寄付や備蓄品の配布（1 月～3 月）

（３）ピアサポートによる活動
内容：当事者がお互いに相談し合えるよう、主体的にプログラム活動が取り組めるよう、創作活動のメニュー表の提示や行事等の企画運営への参加募集を実施しています。また、オープンスペースにおいては、当事者の方同志の情報交換や交流、互いに相談し合える等のことが自然に形成される場になるように努めています。
・当事者同士の交流や生活の情報交換の機会「みんなの暮らしの掲示板」
テーマに沿って、各自が用紙に書き込み、掲示板に掲示
４月：「好きなお弁当のおかず、おすすめのお弁当を教えてください」
５月：「趣味や好きなもの、好きな事を教えてください」
６月：「雨の日の過ごし方を教えてください」
7～8 月：「夏におすすめな食べ物を、理由を添えて、教えてください」
９月：「災害への備え、何をしていますか？」
10 月：「あなたの“ちょっとした贅沢”を教えてください」
11 月：「睡眠で困っていることはありますか？よく眠れるためにしていることはありますか？」
12 月：「冬をあたたかく過ごすために、していること・したいと思っていることを教えてください」
１月：「2024 年はどんな一年にする？どんな一年だったら嬉しい？」
２月：「疲れたなぁ…と感じた時、どうしてますか？」
３月：「春を感じる食べ物は何ですか？」

内容：ゆうき連絡協議会で開催した施設見学ツアーにて、体験談発表の機会を設けました。
発表協力：2 名

（４）その他
内容：パソコン利用（ワード・エクセルの練習、就活書類の作成等）
市民、関係機関等の見学や体験参加の受入：2 名（計 7 回）
就労訓練及び機会の創出（清掃等アルバイトの障害雇用の実施）：0 名

２）関係機関との連携

・日野市、南多摩保健所、多摩総合精神保健福祉センター、日野精神障害者家族会「いずみ会」、日野市社会福祉協議会、日野市内・市外の関係する医療機関、ハローワーク八王子、東京障害者職業センター多摩支部、包括支援センター、他障害施設及び介護保険事業に関係する各事業所等と、必要時に連携を図ります。

３）その他

・ボランティアの受け入れ、相談や調整を行います。：1 名（編み物）

４．研修

・内部研修：ケースカンファレンス等を持ち、相談支援のスキルアップを図ります。

５．感染予防への対策・対応等について

【対策・対応】

・検温、手洗い、うがい、マスクの着用の徹底、手指消毒剤を各部屋等に設置しています。
・各室で、換気の確保、空気清浄機の常時設置、アクリル板の設置（年度途中で一部撤去）、館内の清掃・消毒の徹底を実施しています。
・来所者には検温の協力を依頼し、体調把握に努めています。
・基本的な感染予防対策を継続し、寄付品のマスク配布等を実施することにより、感染予防に対する意識の維持に努めています。
・登録会員向けのおたよりの編集に際して、安心して来所できるよう、相談し易くなるよう、内容の工夫（例えば、カラー印刷頁の増など）を図っています。
・職員についても、毎日の検温、手洗い、うがい、マスク（不織布）着用を徹底しています。

## 外部サービス利用型指定共同生活援助　ヴィレッヂたんぽぽ

# 2023(令和 5)年度　事業報告

１．運営
１）利用者状況（定員 8 名　本体住居 7 名　サテライト型住居 1 名）
・利用者総数（2023 年 4 月～2024 年 3 月）8 名
・在籍者数　（2023 年 3 月末）　8 名
・年間延べ利用者数　2614 名　　開所日数 366 日　　平均利用者数 7.3 人／日
・新規利用者数　1 名
・退所者数　1 名
２）職員体制
・常勤職員　1 名　　非常勤職員（世話人）　8 名
・顧問医　1 名
３）開所日時
・交流室開所時間　月曜日～金曜日　15 時 30 分～18 時 00 分
土日祝日、年末年始　9 時 20 分～12 時 00 分

２．財源の確保
・訓練等給付費
・補助金（日野市）
・利用者負担金　他

３．事業内容
１）生活相談、援助
・月曜日～金曜日　9 時 00 分～18 時 00 分　※緊急時は携帯電話で対応
２）食事提供
・月、火、木、金曜日の夕食の提供
３）世話人居室訪問
・世話人による家事援助（生活スキル向上を目的とした支援）
４）受託居宅介護サービス
・受託居宅介護サービス（事業者による身体介護を伴う居宅介護サービス）
５）プログラム活動
・利用者ミーティング
・余暇活動（創作、掲示物、イベント等）

４．健康管理
・日野市特定検診
・個別健康相談

５．関係機関等との連携
・地域生活支援センターゆうき、日野市障害福祉課、生活福祉課、高齢福祉課、受託居宅介護サービス事業者、居宅介護支援事業所他

６．研修

・法人内部研修

相談支援研修、障害者差別解消研修、防災研修、感染症対策研修、ハラスメント研修、虐待防止・身体拘束適正化研修、権利擁護研修、情報セキュリティ・個人情報保護研修

・外部研修

相談援助技術研修、障害者虐待防止・権利擁護研修、障害者グループホーム従事者基礎研修、障害者グループホーム管理者研修

７．虐待防止対応

・虐待防止委員会及びリスクマネジメント委員会の開催

・虐待防止対応に関する研修の実施

８．その他

・安全管理、防火管理点検の実施

・防災訓練の実施

・精神保健福祉援助実習学生の受け入れ

・業務継続計画（自然災害時）の策定

・「福祉サービスに関する苦情解決への申し出」に対する受付なし

９．総括

１）事業所運営

・感染症対策として、利用者と職員の検温、マスク着用・手指消毒の声かけ、室内の換気・消毒を行いました。

・民間アパートの 1 室を法人が借り上げて運営するグループホームサテライト型事業を行いました。サテライト型住居は法人名義での契約を終了して利用者個人との契約に切り替えて、利用者は卒業後、そのまま住み慣れた住居で生活をすることになりました。

・日野市グループホーム事業者連絡会に出席しました。

２）利用者

・2023 年度は、グループホーム本体住居 7 名、サテライト型住居 1 名の定員 8 名として、利用者 7 名でスタートしました。1 名新規利用があり、1 名退所されました。

・利用者 8 名について、ケアマネジメントを取り入れた個別支援計画の作成・実施・評価を行い、ケアマネジャー会議を月 1 回開催しました。

・交流室利用時には、体調の確認、グループホーム周辺や生活に関する情報交換を行いました。夏の暑さ対策、物価高騰（食材費、光熱費）、災害の話題が多くありました。

３）プログラム活動

・利用者ミーティング（11 月、2 月）

・余暇活動

〇創作　居室や交流室に飾る、季節の飾り作りをしました。

〇掲示板にテーマに沿って各自がひとこと書いて交流室内に掲示し、交流を図りました。

「子どもの頃のあそび」　「七夕のねがいごと」　「好きなアイス」

「クリスマスにほしいもの」　「新年の抱負」　「苦手な家事の話」

〇イベント

月 1 回程度ゲーム等の交流イベントを行い、不定期で図書館に出かけました。

4 月　外出（お花見）　6 月　外食（中華料理）　11 月　飲食イベント（ピザ）

12 月　クリスマス会　1 月　外出（初詣）　3 月　外食（中華料理）

４）福祉サービス第三者評価の受審
・評価機関　一般社団法人　チーム結
・受審日　　2024 年 1 月 26 日
・全体の評価講評結果
A）特に良いと思う点
①「その人にとっての自立」を一緒に考えながら、ホームでの生活を通して、自分の生活スタイルを作っていくことを支援しています
②利用者からの会話の中で要望を聞き適度な距離感の中で関係性を構築し、楽しい時間も持てるよう機会を作っています
③当ホームで必要となる資料も独自に作成し、職員から質問や意見があった場合はその都度見直し、使いやすくなるように工夫しています。
B）さらなる改善が望まれる点
①ホームページは情報収集のツールとして有効なものであることから、早期リニューアルが期待されます。
②個人情報保護法の見直しに伴い、利用者に説明する内容や現状の規程との整合性など確認しておくことも期待されます
③見学者用の資料を活用するなど、入居後の生活もイメージできるような当ホームの紹介ツールの充実も期待されます。

# 障害福祉サービス　指定居宅介護事業所　うぃず
# 2023(令和 5)年度　事業報告

１．運営
１）対象地域　　日野市
２）利用対象
・日野市にお住まいで、福祉サービス受給者証の交付を受けた方
・移動支援の利用者証の交付を受けた方
・2023 年 4 月～2024 年 3 月

| 居宅介護利用者数 | 新規利用者数 | 休止・終了者数 |
|---|---|---|
| 22 名 | 0 名 | 3 名 |

・移動支援利用（登録）者数　　18 名
３）職員体制
・常勤職員 1 名　　非常勤職員 3 名　　登録ヘルパー10 名
・職員の資格
介護福祉士 6 名、2 級ホームヘルパー5 名、介護職員初任者研修 1 名、知的障害者ガイドヘルパー1 名、全身性障害者ガイドヘルパー1 名
４）サービス提供日時
【窓口】
月曜日～金曜日　9：00～17：00　（祝日、及び 12 月 29 日から 1 月 3 日はお休み）
【サービス実施時間】
月曜日～土曜日　8：00～18：00　（日曜、祝日、12 月 29 日～1 月 3 日は要相談）

２．財源の確保
１）介護給付費、移動支援事業等による事業収入
２）利用者の利用料金（自己負担分）等

３．サービス内容
１）居宅介護
・家事援助（掃除、洗濯、調理など、共に行う家事）
・通院介助（病院への移動、通院先での介助、市役所等での手続きに伴う介助）
２）重度訪問介護（肢体不自由等があり、常に介護を必要とする方への援助）
３）移動支援（屋外での移動・外出援助が必要な方への支援）
４）受託居宅介護（グループホームからの委託により、身体介護が必要な利用者への援助）
５）自費サービス（制度適用外のサービス）

４.サービス提供　（2023.4 月～2024.3 月　実績）
利用者数　障害区分別

| 区分 1 | 区分 2 | 区分 3 | 区分 4 | 区分 5 | 区分 6 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 | 10 | 9 | 2 | 0 | 0 | 21 |

年間利用者数及び延べ人数

| 障害福祉サービス | | 日野市地域生活支援事業 | | その他 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 居宅介護等 | | 移動支援 | | 自費サービス | |
| 利用者数 | 延べ人数 | 利用者数 | 延べ人数 | 利用者数 | 延べ人数 |
| 219 | 767 | 100 | 245 | 36 | 105 |
| 実人数合計 | 355 | | 延べ人数合計 | 1117 | |

５．健康管理
・常勤職員、非常勤職員ともに年 1 回の健康診断受診

６．関係機関との連携
・日野市、及び利用者が関係する医療機関、相談機関、通所施設、入居施設　他

７．研修
１）ヘルパー定例研修会・事例検討会（月１回）、ヘルパー個別研修（年 1 回）の実施
２）法人内部研修・委員会の実施
・相談支援研修、障害者差別解消研修、防災/感染症（BCP 見直し）、虐待防止・身体拘束適正化（研修・委員会）、権利擁護研修、情報セキュリティ・個人情報保護研修
・リスクマネジメント委員会（月 1 回）
３）外部研修（東京都、日野市等で実施する研修）への参加
・虐待防止研修
・集団指導の受講

８．その他
・業務継続計画（災害時）の策定
・「同行援護」「行動援護」の廃止について
＊「同行援護」については、現在利用者がいないこと、資格のあるヘルパー（2 名）はいるが経験が乏しく、実際のサービス提供は厳しいと判断、今後も対応できる人員の確保が困難なことを理由に、2023 年 10 月の指定更新の際に、廃止届出書を提出いたしました。（廃止決定日　2023 年 9 月 8 日）
＊「行動援護」については、2024 年 4 月から、指定要件（行動援護従事者養研修修了者が必要）が満たされなくなること、現在利用者がいないことを理由に、廃止届出書を提出いたしました。（廃止決定日　2024 年 2 月 29 日）

９．総括
１）利用者状況について
・居宅介護の利用者は、年度当初は 22 名、終了・休止の方が 3 名あり、年度末の利用者は 19 名でした。ヘルパーの確保が出来ず、新規利用者は受けられませんでした。
・移動支援の利用者は、月平均 8 名。買い物同行、余暇活動の同行のご利用がありました。
・受託居宅介護はヴィレッヂたんぽぽにおいて、身体介護が必要な方の支援を行いました。
・自費サービスは、制度で対応できない大掃除や家事援助等の支援を行いました。
２）事業所運営について
・「共に行う支援」を基本とし、在宅生活が安定して送れるよう支援を行いました。
・利用者個々の状況を把握し、サービス等利用計画に基づいた介護計画・手順書等の作成、実施、評価を行い、より個別ケースに対応した支援を行いました。
・利用者のケア会議等に参加し、在宅支援の役割が担えるよう連携に努めました。
・前年度同様に感染防止対策行いながらサービスを実施しました。
３）人材について
・定例の研修会においては、利用者ごとの支援方針、問題点や改善策についてヘルパー間で話し合い、情報共有することで、サービスの質の向上につながるよう努めました。
・一人の利用者に対し、複数のヘルパーが担当できる体制を継続し、少ない人員でやりくりができるよう調整を行いました。又、これにより利用者の生活状況や体調などの変化にも多面的な視点を持てるようになりました。
・ヘルパーの処遇を改善するため、加算を取得しました。

１０．事業廃止に向けて

・事業の運営について、これまで法人内で、見直し、検討を重ねてきましたが、介護従事者の人材不足、財政面等の事情により、2024 年 12 月をもって、居宅介護、重度訪問介護の事業を廃止するという判断に至りました。2024 年 3 月 26 日の理事会において承認されました。

事業廃止後は、うぃずの機能を法人内のサービスに残せる形を目指し、利用者の生活支援に繋げていく方向で準備をすすめていきます。

## 介護保険　指定訪問介護事業所　ヘルパーセンターうぃず

# 2023(令和 5)年度　事業報告

１．運営
１）対象地域　　日野市
２）利用対象
・要介護 1～5 の認定を受けた方
・在宅生活を基本としながら、身体介護、生活援助が必要な方
３）職員体制
・常勤職員 1 名　　非常勤職員 3 名　　登録ヘルパー10 名
・職員の資格
　介護福祉士 6 名、　2 級ホームヘルパー5 名、　介護職員初任者研修 1 名
４）サービス提供日時
【窓口】
　月曜日～金曜日　9：00～17：00　（祝日、及び 12 月 29 日から 1 月 3 日はお休み）
【サービス実施時間】
　月曜日～土曜日　8：00～18：00　（日曜、祝日、12 月 29 日～1 月 3 日は要相談）

２．財源の確保
・介護給付費収入
・利用者の自己負担分による収入

３．サービス内容
１）生活援助
・掃除、洗濯、調理、日常品の買い物、その他の一般的な家事等
２）身体介護
・排泄、食事、入浴、整容等、移動、移乗、通院等に関する介助等
・自立支援のための見守り的援助、利用者と共に行う家事など

４．サービス実施実績（2023 年 4 月～2024 年 3 月）

| 利用実人数 | 延べ人数 |
|---|---|
| 63 名 | 474 名 |

（介護度別　利用者数）

| 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 6 |

５．健康管理
・常勤職員、非常勤職員ともに年 1 回の健康診断受診

６．関係機関との連携
・日野市高齢福祉課、居宅介護支援事業所、利用者が関係する医療機関、相談機関、通所施設等との連携

７．研修
１）ヘルパー定例研修会・事例検討会（月１回）、個別研修の実施
２）法人内部研修・委員会の実施
・相談支援研修、障害者差別解消研修、防災/感染症研修（BCP 見直し）、虐待防止・身体拘束適正化（研修・委員会）、権利擁護研修、情報セキュリティ・個人情報保護研修
・リスクマネジメント委員会（月 1 回）
３）外部研修（東京都、日野市等で実施する研修）への参加、
・虐待防止研修、集団指導の受講

８．その他
・業務継続計画（災害時）の策定

９．総括
１）利用者状況について
・2023 年度は、新規の方が 1 名、要支援となりサービスが終了した方が 1 名あり、利用者数に変動はありませんでしたが、一時的に通院介助や家事援助が必要になられた方があり、延べ人数としては、前年度より増加しました。
２）事業運営について
・在宅生活を継続するため、利用者の健康面、精神面の安定を維持すること、「出来る力」を尊重し、自立支援の視点を取り入れた支援を中心に行いました。
・利用者個々の状況を踏まえたサービスを実施するため、ケアプランと連動した介護計画・手順書等の作成、実施、評価を行い、より個別ケースに対応した支援を行いました。
・前年度同様に感染防止対策行いながらサービスを実施しました。
・サービス担当者会議、地域ケア会議等に出席し、在宅支援の役割が担えるよう連携に努めました。
・日野市介護サービス事業者連絡会に参加しました。
３）人材について
・ヘルパー研修会においては、利用者ごとの支援方針、問題点や改善策についてヘルパー間で話し合い、情報共有することで、サービスの質の向上につながるよう努めました。
・一人の利用者に対し、複数のヘルパーが担当できる体制を継続し、少ない人員でやりくりができるよう調整を行いました。又、これにより利用者の生活状況や体調などの変化にも多面的な視点を持てるようになりました。
・ヘルパーの処遇を改善するため、加算を取得するための取り組みを行いました。

１０．事業廃止に向けて
・事業の運営について、これまで法人内で、見直し、検討を重ねてきましたが、介護従事者の人材不足、財政面等の事情により、2024 年 12 月をもって、訪問介護の事業を廃止するという判断に至りました。2024 年 3 月 26 日の理事会において承認されました。
事業廃止後は、うぃずの機能を法人内のサービスに残せる形を目指し、利用者の生活支援に繋げていく方向で準備をすすめていきます。

社会福祉法人　日野市民たんぽぽの会

2023（令和5）年度　会計報告

１．資金収支計算書

２．事業活動計算書

３．貸借対照表

４．財産目録

# 法人単位資金収支計算書

（自）2023年4月1日　　（至）2024年3月31日

（単位：円）

| 勘定科目 | | | 予算(A) | 決算(B) | 差異(A)－(B) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業活動による収支 | 収入 | 介護保険事業収入 | 2,008,000 | 2,204,528 | −196,528 | |
| | | 就労支援事業収入 | 17,360,000 | 17,294,863 | 65,137 | |
| | | 障害福祉サービス等事業収入 | 154,494,000 | 150,093,547 | 4,400,453 | |
| | | 借入金利息補助金収入 | 52,000 | 51,978 | 22 | |
| | | 経常経費寄附金収入 | 2,804,200 | 2,504,200 | 300,000 | |
| | | 受取利息配当金収入 | 25,000 | 4,191 | 20,809 | |
| | | その他の収入 | 947,000 | 1,203,030 | −256,030 | |
| | | 事業活動収入計(1) | 177,690,200 | 173,356,337 | 4,333,863 | |
| | 支出 | 人件費支出 | 116,703,000 | 114,912,994 | 1,790,006 | |
| | | 事業費支出 | 8,831,000 | 7,912,053 | 918,947 | |
| | | 事務費支出 | 45,700,400 | 43,625,565 | 2,074,835 | |
| | | 就労支援事業支出 | 17,361,000 | 16,905,672 | 455,328 | |
| | | 支払利息支出 | 54,000 | 53,833 | 167 | |
| | | 事業活動支出計(2) | 188,649,400 | 183,410,117 | 5,239,283 | |
| | 事業活動資金収支差額(3)＝(1)－(2) | | −10,959,200 | −10,053,780 | −905,420 | |
| 施設整備等による収支 | 収入 | | | | 0 | |
| | | 施設整備等収入計(4) | 0 | 0 | 0 | |
| | 支出 | 設備資金借入金元金償還支出 | 1,128,000 | 1,128,000 | 0 | |
| | | 固定資産取得支出 | 150,000 | 0 | 150,000 | |
| | | 施設整備等支出計(5) | 1,278,000 | 1,128,000 | 150,000 | |
| | 施設整備等資金収支差額(6)＝(4)－(5) | | −1,278,000 | −1,128,000 | −150,000 | |
| その他の活動による収支 | 収入 | 積立資金取崩収入 | 7,950,000 | 7,950,000 | 0 | |
| | | その他の活動収入計(7) | 7,950,000 | 7,950,000 | 0 | |
| | 支出 | | | | 0 | |
| | | その他の活動支出計(8) | 0 | 0 | 0 | |
| | その他の活動資金収支差額(9)＝(7)－(8) | | 7,950,000 | 7,950,000 | 0 | |
| 予備費支出(10) | | | 496,323<br>0 | ― | 496,323 | |
| 当期資金収支差額合計(11)＝(3)＋(6)＋(9)－(10) | | | −4,783,523 | −3,231,780 | −1,551,743 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 前期末支払資金残高(12) | 84,518,752 | 84,518,752 | 0 | |
| 当期末支払資金残高(11)＋(12) | 79,735,229 | 81,286,972 | −1,551,743 | |

# 事業区分資金収支内訳表

（自）2023年4月1日　　（至）2024年3月31日

（単位：円）

| 勘定科目 | | | 本部 | たかはた | ひの | 合計 | 内部取引消去 | 事業区分合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業活動による収支 | 収入 | 介護保険事業収入 | 0 | 2,204,528 | 0 | 2,204,528 | 0 | 2,204,528 |
| | | 就労支援事業収入 | 0 | 12,449,291 | 4,845,572 | 17,294,863 | 0 | 17,294,863 |
| | | 障害福祉サービス等事業収入 | 0 | 78,734,483 | 71,359,064 | 150,093,547 | 0 | 150,093,547 |
| | | 借入金利息補助金収入 | 0 | 0 | 51,978 | 51,978 | 0 | 51,978 |
| | | 経常経費寄附金収入 | 600,000 | 1,000,000 | 904,200 | 2,504,200 | 0 | 2,504,200 |
| | | 受取利息配当金収入 | 2,189 | 1,135 | 867 | 4,191 | 0 | 4,191 |
| | | その他の収入 | 0 | 482,120 | 720,910 | 1,203,030 | 0 | 1,203,030 |
| | | 事業活動収入計(1) | 602,189 | 94,871,557 | 77,882,591 | 173,356,337 | 0 | 173,356,337 |
| | 支出 | 人件費支出 | 0 | 69,730,670 | 45,182,324 | 114,912,994 | 0 | 114,912,994 |
| | | 事業費支出 | 0 | 4,573,851 | 3,338,202 | 7,912,053 | 0 | 7,912,053 |
| | | 事務費支出 | 834,690 | 21,111,282 | 21,679,593 | 43,625,565 | 0 | 43,625,565 |
| | | 就労支援事業支出 | 0 | 12,057,818 | 4,847,854 | 16,905,672 | 0 | 16,905,672 |
| | | 支払利息支出 | 0 | 0 | 53,833 | 53,833 | 0 | 53,833 |
| | | 事業活動支出計(2) | 834,690 | 107,473,621 | 75,101,806 | 183,410,117 | 0 | 183,410,117 |
| | 事業活動資金収支差額(3)＝(1)－(2) | | −232,501 | −12,602,064 | 2,780,785 | −10,053,780 | 0 | −10,053,780 |
| 施設整備等による収支 | 収入 | | | | | 0 | | 0 |
| | | 施設整備等収入計(4) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 支出 | 設備資金借入金元金償還支出 | 0 | 0 | 1,128,000 | 1,128,000 | 0 | 1,128,000 |
| | | 施設整備等支出計(5) | 0 | 0 | 1,128,000 | 1,128,000 | 0 | 1,128,000 |
| | 施設整備等資金収支差額(6)＝(4)－(5) | | 0 | 0 | −1,128,000 | −1,128,000 | 0 | −1,128,000 |
| その他の活動による収支 | 収入 | 積立資金取崩収入 | 0 | 7,950,000 | 0 | 7,950,000 | 0 | 7,950,000 |
| | | 拠点区分間繰入金収入 | | 5,000,000 | | 5,000,000 | −5,000,000 | 0 |
| | | その他の活動収入計(7) | 0 | 12,950,000 | 0 | 12,950,000 | −5,000,000 | 7,950,000 |
| | 支出 | 拠点区分間繰入金支出 | 5,000,000 | | | 5,000,000 | −5,000,000 | 0 |
| | | | | | | 0 | 0 | 0 |
| | | その他の活動支出計(8) | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 | −5,000,000 | 0 |
| | その他の活動資金収支差額(9)＝(7)－(8) | | −5,000,000 | 12,950,000 | 0 | 7,950,000 | 0 | 7,950,000 |
| 当期資金収支差額合計(11)＝(3)＋(6)＋(9)－(10) | | | −5,232,501 | 347,936 | 1,652,785 | −3,231,780 | 0 | −3,231,780 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 前期末支払資金残高(12) | 18,635,309 | 31,718,920 | 34,164,523 | 84,518,752 | 0 | 84,518,752 |
| 当期末支払資金残高(11)＋(12) | 13,402,808 | 32,066,856 | 35,817,308 | 81,286,972 | 0 | 81,286,972 |

# 法人単位事業活動計算書

（自）2023年4月1日　　（至）2024年3月31日

（単位：円）

| 勘定科目 | | | 当年度決算(A) | 前年度決算(B) | 増減(A)－(B) |
|---|---|---|---|---|---|
| サービス活動増減の部 | 収益 | 介護保険事業収益 | 1,605,533 | 1,325,285 | 280,248 |
| | | 就労支援事業収益 | 16,042,007 | 13,413,305 | 2,628,702 |
| | | 障害福祉サービス等事業収益 | 150,093,547 | 151,989,222 | −1,895,675 |
| | | 経常経費寄附金収益 | 2,504,200 | 3,339,588 | −835,388 |
| | | サービス活動収益計(1) | 170,245,287 | 170,067,400 | 177,887 |
| | 費用 | 人件費 | 114,936,994 | 114,192,450 | 744,544 |
| | | 事業費 | 7,912,053 | 8,324,497 | −412,444 |
| | | 事務費 | 43,418,420 | 39,716,555 | 3,701,865 |
| | | 就労支援事業費用 | 16,125,249 | 13,795,331 | 2,329,918 |
| | | 減価償却費 | 6,802,538 | 6,697,902 | 104,636 |
| | | 国庫補助金等特別積立金取崩額 | −3,378,537 | −3,381,037 | 2,500 |
| | | サービス活動費用計(2) | 185,816,717 | 179,345,698 | 6,471,019 |
| | サービス活動増減差額 (3)＝(1)－(2) | | −15,571,430 | −9,278,298 | −6,293,132 |
| サービス活動外増減の部 | 収益 | 借入金利息補助金収益 | 51,978 | 67,770 | −15,792 |
| | | 受取利息配当金収益 | 4,191 | 4,286 | −95 |
| | | その他のサービス活動外収益 | 1,203,030 | 3,005,000 | −1,801,970 |
| | | サービス活動外収益計(4) | 1,259,199 | 3,077,056 | −1,817,857 |
| | 費用 | 支払利息 | 53,833 | 70,189 | −16,356 |
| | | サービス活動外費用計(5) | 53,833 | 70,189 | −16,356 |
| | サービス活動外増減差額(6)＝(4)－(5) | | 1,205,366 | 3,006,867 | −1,801,501 |
| 経常増減差額(7)＝(3)＋(6) | | | −14,366,064 | −6,271,431 | −8,094,633 |
| 特別増減の部 | 収益 | | | | 0 |
| | | | | | 0 |
| | | 特別収益計(8) | 0 | 0 | 0 |
| | 費用 | | | | 0 |
| | | | | | 0 |
| | | 特別費用計(9) | 0 | 0 | 0 |
| | 特別増減差額(10)＝(8)－(9) | | 0 | 0 | 0 |
| 当期活動増減差額(11)＝(7)＋(10) | | | −14,366,064 | −6,271,431 | −8,094,633 |
| 繰越活動増減の部 | 前期繰越活動増減差額(12) | | 96,051,606 | 96,043,037 | 8,569 |
| | 当期末繰越活動増減差額(13)＝(11)＋(12) | | 81,685,542 | 89,771,606 | −8,086,064 |
| | 基本金取崩額(14) | | 0 | 0 | 0 |
| | その他の積立金取崩額(15) | | 7,950,000 | 6,280,000 | 1,670,000 |
| | その他の積立金積立額(16) | | 0 | 0 | 0 |
| | 次期繰越活動増減差額(17)＝(13)＋(14)＋(15)－(16) | | 89,635,542 | 96,051,606 | −6,416,064 |

# 社会福祉事業　事業区分事業活動内訳表

（自）2023年4月1日　　（至）2024年3月31日

（単位：円）

| 勘定科目 | | | 本部 | たかはた | ひの | 合計 | 内部取引消去 | 事業区分合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| サービス活動増減の部 | 収益 | 介護保険事業収益 | 0 | 2,204,528 | 0 | 2,204,528 | −598,995 | 1,605,533 |
| | | 就労支援事業収益 | 0 | 12,449,291 | 4,845,572 | 17,294,863 | −1,252,856 | 16,042,007 |
| | | 障害福祉サービス等事業収益 | 0 | 78,734,483 | 71,359,064 | 150,093,547 | 0 | 150,093,547 |
| | | 経常経費寄附金収益 | 600,000 | 1,000,000 | 904,200 | 2,504,200 | 0 | 2,504,200 |
| | | サービス活動収益計(1) | 600,000 | 94,388,302 | 77,108,836 | 172,097,138 | −1,851,851 | 170,245,287 |
| | 費用 | 人件費 | 0 | 69,744,670 | 45,192,324 | 114,936,994 | 0 | 114,936,994 |
| | | 事業費 | 0 | 4,573,851 | 3,338,202 | 7,912,053 | 0 | 7,912,053 |
| | | 事務費 | 834,690 | 21,111,282 | 22,096,259 | 44,042,231 | −623,811 | 43,418,420 |
| | | 就労支援事業費用 | 0 | 12,459,977 | 4,893,312 | 17,353,289 | −1,228,040 | 16,125,249 |
| | | 減価償却費 | 143,143 | 3,678,602 | 2,980,793 | 6,802,538 | 0 | 6,802,538 |
| | | 国庫補助金等特別積立金取崩額 | 0 | −2,163,545 | −1,214,992 | −3,378,537 | 0 | −3,378,537 |
| | | サービス活動費用計(2) | 977,833 | 109,404,837 | 77,285,898 | 187,668,568 | −1,851,851 | 185,816,717 |
| | サービス活動増減差額(3)＝(1)－(2) | | −377,833 | −15,016,535 | −177,062 | −15,571,430 | 0 | −15,571,430 |
| サービス活動外増減の部 | 収益 | 借入金利息補助金収益 | 0 | 0 | 51,978 | 51,978 | 0 | 51,978 |
| | | 受取利息配当金収益 | 2,189 | 1,135 | 867 | 4,191 | 0 | 4,191 |
| | | その他のサービス活動外収益 | 0 | 482,120 | 720,910 | 1,203,030 | 0 | 1,203,030 |
| | | サービス活動外収益計(4) | 2,189 | 483,255 | 773,755 | 1,259,199 | 0 | 1,259,199 |
| | 費用 | 支払利息 | 0 | 0 | 53,833 | 53,833 | 0 | 53,833 |
| | | サービス活動外費用計(5) | 0 | 0 | 53,833 | 53,833 | 0 | 53,833 |
| | サービス活動外増減差額(6)＝(4)－(5) | | 2,189 | 483,255 | 719,922 | 1,205,366 | 0 | 1,205,366 |
| 経常増減差額(7)＝(3)＋(6) | | | −375,644 | −14,533,280 | 542,860 | −14,366,064 | 0 | −14,366,064 |
| 特別増減の部 | 収益 | 拠点区分間繰入金収益 | 0 | 5,000,000 | 0 | 5,000,000 | −5,000,000 | 0 |
| | | 特別収益計(8) | 0 | 5,000,000 | 0 | 5,000,000 | −5,000,000 | 0 |
| | 費用 | 拠点区分間繰入金費用 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 | −5,000,000 | 0 |
| | | 特別費用計(9) | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 | −5,000,000 | 0 |
| | 特別増減差額(10)＝(8)－(9) | | −5,000,000 | 5,000,000 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期活動増減差額(11)＝(7)＋(10) | | | −5,375,644 | −9,533,280 | 542,860 | −14,366,064 | 0 | −14,366,064 |
| 繰越活動増減の部 | 前期繰越活動増減差額(12) | | 19,298,310 | 29,328,938 | 47,424,358 | 96,051,606 | | 96,051,606 |
| | 当期末繰越活動増減差額(13)＝(11)＋(12) | | 13,922,666 | 19,795,658 | 47,967,218 | 81,685,542 | | 81,685,542 |
| | 基本金取崩額(14) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他の積立金取崩額(15) | | 0 | 7,950,000 | 0 | 7,950,000 | 0 | 7,950,000 |
| | その他の積立金積立額(16) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 次期繰越活動増減差額(17)＝(13)＋(14)＋(15)－(16) | | 13,922,666 | 27,745,658 | 47,967,218 | 89,635,542 | | 89,635,542 |

# 法人単位貸借対照表

2024年3月31日現在

（単位：円）

| 資産の部 | | | | 負債の部 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 当年度末 | 前年度末 | 増減 | | 当年度末 | 前年度末 | 増減 |
| 流動資産 | 92,911,225 | 92,286,159 | 625,066 | 流動負債 | 14,614,963 | 10,757,023 | 3,857,940 |
| 現金預金 | 73,811,582 | 73,889,805 | −78,223 | 事業未払金 | 11,564,963 | 7,731,023 | 3,833,940 |
| 事業未収金 | 18,004,122 | 17,077,729 | 926,393 | 1年以内返済予定設備資金借入金 | 1,128,000 | 1,128,000 | 0 |
| 貯蔵品 | 634 | 11,408 | −10,774 | 賞与引当金 | 1,922,000 | 1,898,000 | 24,000 |
| 原材料 | 59,290 | 36,384 | 22,906 | 固定負債 | 1,974,000 | 3,102,000 | −1,128,000 |
| 前払費用 | 1,035,597 | 1,270,833 | −235,236 | 設備資金借入金 | 1,974,000 | 3,102,000 | −1,128,000 |
| 固定資産 | 224,857,446 | 240,497,173 | −15,639,727 | 負債の部合計 | 16,588,963 | 13,859,023 | 2,729,940 |
| 基本財産 | 52,993,797 | 55,165,314 | −2,171,517 | 純資産の部 | | | |
| 建物 | 52,993,797 | 55,165,314 | −2,171,517 | 基本金 | 10,530,000 | 10,530,000 | 0 |
| その他の固定資産 | 171,863,649 | 185,331,859 | −13,468,210 | 国庫補助金等特別積立金 | 56,323,876 | 59,702,413 | −3,378,537 |
| 建物 | 12,642,819 | 15,707,723 | −3,064,904 | その他の積立金 | 144,690,290 | 152,640,290 | −7,950,000 |
| 構築物 | 1 | 1 | 0 | 人件費積立金 | 5,820,000 | 10,820,000 | −5,000,000 |
| 機械及び装置 | 3 | 3 | 0 | 備品等購入積立金 | 13,668,010 | 16,618,010 | −2,950,000 |
| 車輌運搬具 | 1,273,310 | 1,768,905 | −495,595 | 施設整備等積立金 | 120,665,000 | 120,665,000 | 0 |
| 器具及び備品 | 1,965,824 | 3,506,869 | −1,541,045 | 工賃変動積立金 | 188,264 | 188,264 | 0 |
| 権利 | 771,120 | 771,120 | 0 | 設備等整備積立金 | 4,349,016 | 4,349,016 | 0 |
| 人件費積立資産 | 5,820,000 | 10,820,000 | −5,000,000 | 次期繰越活動増減差額 | 89,635,542 | 96,051,606 | −6,416,064 |
| 備品等購入積立資産 | 13,668,010 | 16,618,010 | −2,950,000 | （うち当期活動増減差額） | −14,366,064 | −6,271,431 | −8,094,633 |
| 施設整備等積立資産 | 120,665,000 | 120,665,000 | 0 | | | | |
| 工賃変動積立資産 | 188,264 | 188,264 | 0 | | | | |
| 設備等整備積立資産 | 4,349,016 | 4,349,016 | 0 | | | | |
| 長期前払費用 | 10,470,282 | 10,886,948 | −416,666 | | | | |
| その他の固定資産 | 50,000 | 50,000 | 0 | | | | |
| | | | | 純資産の部合計 | 301,179,708 | 318,924,309 | −17,744,601 |
| 資産の部合計 | 317,768,671 | 332,783,332 | −15,014,661 | 負債及び純資産の部合計 | 317,768,671 | 332,783,332 | −15,014,661 |

# 社会福祉事業　事業区分貸借対照表内訳表

2024年3月31日現在

（単位：円）

| 勘定科目 | 本部 | たかはた | ひの | 合計 | 内部取引消去 | 事業区分合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 流動資産 | 13,625,228 | 39,423,341 | 40,157,892 | 93,206,461 | −295,236 | 92,911,225 |
| 現金預金 | 13,625,228 | 31,844,219 | 28,342,135 | 73,811,582 | 0 | 73,811,582 |
| 事業未収金 | | 6,943,377 | 11,060,745 | 18,004,122 | 0 | 18,004,122 |
| 貯蔵品 | | | 634 | 634 | 0 | 634 |
| 原材料 | | 59,290 | | 59,290 | 0 | 59,290 |
| 前払費用 | | 281,219 | 754,378 | 1,035,597 | 0 | 1,035,597 |
| 拠点区分間未収金 | 0 | 295,236 | | 295,236 | −295,236 | 0 |
| 固定資産 | 519,858 | 139,376,122 | 84,961,466 | 224,857,446 | 0 | 224,857,446 |
| 基本財産 | 0 | 52,993,797 | 0 | 52,993,797 | 0 | 52,993,797 |
| 建物 | | 52,993,797 | | 52,993,797 | 0 | 52,993,797 |
| その他の固定資産 | 519,858 | 86,382,325 | 84,961,466 | 171,863,649 | 0 | 171,863,649 |
| 建物 | | 3,049,211 | 9,593,608 | 12,642,819 | 0 | 12,642,819 |
| 構築物 | | 1 | | 1 | 0 | 1 |
| 機械及び装置 | | 3 | | 3 | 0 | 3 |
| 車輌運搬具 | | 1,273,306 | 4 | 1,273,310 | 0 | 1,273,310 |
| 器具及び備品 | 369,858 | 898,158 | 697,808 | 1,965,824 | 0 | 1,965,824 |
| 権利 | 100,000 | 240,120 | 431,000 | 771,120 | 0 | 771,120 |
| 人件費積立資産 | | 5,820,000 | | 5,820,000 | 0 | 5,820,000 |
| 備品等購入積立資産 | | 0 | 13,668,010 | 13,668,010 | 0 | 13,668,010 |
| 施設整備等積立資産 | | 72,395,000 | 48,270,000 | 120,665,000 | 0 | 120,665,000 |
| 工賃変動積立資産 | | | 188,264 | 188,264 | 0 | 188,264 |
| 設備等整備積立資産 | | 2,696,976 | 1,652,040 | 4,349,016 | 0 | 4,349,016 |
| 長期前払費用 | | 9,550 | 10,460,732 | 10,470,282 | 0 | 10,470,282 |
| その他の固定資産 | 50,000 | | | 50,000 | 0 | 50,000 |
| 資産の部合計 | 14,145,086 | 178,799,463 | 125,119,358 | 318,063,907 | −295,236 | 317,768,671 |
| 流動負債 | 222,420 | 8,410,195 | 6,277,584 | 14,910,199 | −295,236 | 14,614,963 |
| 事業未払金 | 222,420 | 7,297,195 | 4,045,348 | 11,564,963 | | 11,564,963 |
| 1年以内返済予定設備資金借入金 | | | 1,128,000 | 1,128,000 | 0 | 1,128,000 |
| 拠点区分間未払金 | | | 295,236 | 295,236 | −295,236 | 0 |
| 賞与引当金 | | 1,113,000 | 809,000 | 1,922,000 | 0 | 1,922,000 |
| 固定負債 | 0 | 0 | 1,974,000 | 1,974,000 | 0 | 1,974,000 |
| 設備資金借入金 | | | 1,974,000 | 1,974,000 | 0 | 1,974,000 |
| 負債の部合計 | 222,420 | 8,410,195 | 8,251,584 | 16,884,199 | −295,236 | 16,588,963 |
| 基本金 | | 10,530,000 | | 10,530,000 | 0 | 10,530,000 |
| 国庫補助金等特別積立金 | | 51,201,634 | 5,122,242 | 56,323,876 | 0 | 56,323,876 |
| その他の積立金 | | 80,911,976 | 63,778,314 | 144,690,290 | 0 | 144,690,290 |
| 人件費積立金 | | 5,820,000 | | 5,820,000 | 0 | 5,820,000 |
| 備品等購入積立金 | | 0 | 13,668,010 | 13,668,010 | 0 | 13,668,010 |
| 施設整備等積立金 | | 72,395,000 | 48,270,000 | 120,665,000 | 0 | 120,665,000 |
| 工賃変動積立金 | | | 188,264 | 188,264 | 0 | 188,264 |
| 設備等整備積立金 | | 2,696,976 | 1,652,040 | 4,349,016 | 0 | 4,349,016 |
| 次期繰越活動増減差額 | 13,922,666 | 27,745,658 | 47,967,218 | 89,635,542 | 0 | 89,635,542 |
| （うち当期活動増減差額） | −5,375,644 | −9,533,280 | 542,860 | −14,366,064 | 0 | −14,366,064 |
| 純資産の部合計 | 13,922,666 | 170,389,268 | 116,867,774 | 301,179,708 | 0 | 301,179,708 |
| 負債及び純資産の部合計 | 14,145,086 | 178,799,463 | 125,119,358 | 318,063,907 | −295,236 | 317,768,671 |

# 財産目録

2024年3月31日現在

（単位：円）

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 取得年度 | 使用目的等 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 貸借対照表価額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ　資産の部 | | | | | | |
| 1　流動資産 | | | | | | |
| 現　金 | 現金手元有高 各拠点現金、小口現金 合計 | ― | 運転資金として | | | 723,748 |
| 普通預金 | 三井住友銀行 高幡不動支店 1267825 | ― | 本部 | | | 10,025,488 |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0094737 | ― | 本部（運営） | | | 3,549,404 |
| | 三井住友銀行 高幡不動支店 1276177 | ― | 本部（給与） | | | 解約済み |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0229563 | ― | 本部（給与） | | | 1,000 |
| | 三井住友銀行 高幡不動支店 1276166 | ― | 本部（預り金(旧)） | | | 0 |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0047861 | ― | 本部（預り金） | | | 0 |
| | 三井住友銀行 高幡不動支店 1300678 | ― | ゆうき | | | 123,491 |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0108371 | ― | ゆうき | | | 15,455,937 |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0047852 | ― | うぃず | | | 1,871,121 |
| | ゆうちょ銀行 10090-84894301 | ― | ヘルパーセンターうぃず | | | 1,007 |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0101415 | ― | ヘルパーセンターうぃず | | | 678,363 |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0147598 | ― | たかはたセンター(運営) | | | 8,060,402 |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0147610 | ― | たかはたセンター(下請) | | | 154,921 |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0147636 | ― | たかはたセンター(弁当) | | | 1,336,650 |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0147644の一部 | ― | たかはたセンター(就労) | | | 3,840,434 |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0003965の一部 | ― | たかはたセンター(積立) | | | 208 |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0144394 | ― | ひのセンター(運営) | | | 10,185,636 |
| | 多摩信用金庫 日野支店 2751709 | ― | ひのセンター(下請) | | | 3,916,777 |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0094761 | ― | くつろぎ（運営） | | | 8,380,307 |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0100800 | ― | くつろぎ（就労） | | | 702,681 |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0047844 | ― | ヴィレッヂたんぽぽ | | | 4,804,007 |
| | | | | | | 73,087,834 |
| 事業未収金 | 補助金、利用者負担金等 | ― | | | | 18,004,122 |
| 貯蔵品 | 切手 | ― | くつろぎ | | | 634 |
| 原材料 | 弁当食材等 | ― | たかはたセンター(就労) | | | 59,290 |
| 前払費用 | 家賃、駐車場代、リース料等 | ― | | | | 1,035,597 |
| 流動資産合計 | | | | | | 92,911,225 |
| 2　固定資産 | | | | | | |
| (1)基本財産 | | | | | | |
| 建物 | 日野市高幡864-15、17　家屋番号864番15<br>鉄筋コンクリート造ステンレス鋼板葺3階建 | H9年度 | たかはた拠点で社会福祉事業に使用 | 155,673,000 | 102,679,203 | 52,993,797 |
| 基本財産合計 | | | | | | 52,993,797 |
| (2)その他の固定資産 | | | | | | |
| 建物 | 日野市高幡864-15、17　空調、給排水工事等 | H26年度 | たかはた拠点で社会福祉事業に使用 | 11,144,974 | 8,095,763 | 3,049,211 |
| | 日野市栄町2-17-1　建物内装 | H23年度 | ひの拠点で社会福祉事業に使用 | 37,516,500 | 27,922,892 | 9,593,608 |
| 構築物 | | ― | | | | 1 |
| 機械及び装置 | | ― | | | | 3 |
| 車輌運搬具 | | ― | | | | 1,273,310 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 器具及び備品 | | ー | | | | 1,965,824 |
| 権利 | | ー | 電話加入権、賃貸保証金等 | | | 771,120 |
| 出資金 | 多摩信用金庫 高幡不動支店 | ー | 本部 | | | 50,000 |
| 備品等購入積立資産 | | | | | | |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0122129の一部 | ー | ゆうき | | | 0 |
| | 多摩信用金庫 日野支店 2799556の一部 | ー | たんぽぽひのセンター | | | 13,668,010 |
| 施設整備等積立資産 | | | | | | |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0122129の一部 | ー | ゆうき | | | 3,970,000 |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0003965の一部 | ー | たかはたセンター(施設) | | | 68,425,000 |
| | 多摩信用金庫 日野支店 2799556の一部 | ー | たんぽぽひのセンター | | | 43,000,000 |
| | 多摩信用金庫 日野支店 2817510の一部 | ー | くつろぎ | | | 1,630,000 |
| | 多摩信用金庫 日野支店 2817528 | ー | ヴィレッヂたんぽぽ | | | 3,640,000 |
| 人件費積立資産 | | | | | | |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0122129の一部 | ー | ゆうき | | | 2,400,000 |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0047828 | ー | うぃず | | | 3,420,000 |
| 就労支援事業積立資産 | | | | | | |
| 工賃変動積立資産 | | | | | | |
| | 多摩信用金庫 日野支店 2817510の一部 | ー | くつろぎ | | | 65,264 |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 2799556の一部 | ー | ひのセンター(運営) | | | 123,000 |
| 設備等整備積立資産 | | | | | | |
| | 多摩信用金庫 高幡不動支店 0003965の一部<br>0147644の一部 | ー | たかはたセンター(下請) | | | 2,696,976 |
| | 多摩信用金庫 日野支店 2799556の一部 | ー | たんぽぽひのセンター | | | 1,619,695 |
| | 多摩信用金庫 日野支店 2817510の一部 | ー | くつろぎ | | | 32,345 |
| 長期前払費用 | 自動車 リサイクル預託金 | ー | ひの、たかはた拠点 | | | 18,890 |
| | 礼金 H31.3.5～30年償却 | H30年度 | ひの拠点 | | | 10,451,392 |
| その他の固定資産合計 | | | | | | 171,863,649 |
| 固定資産合計 | | | | | | 224,857,446 |
| 資産合計 | | | | | | 317,768,671 |

## Ⅱ 負債の部

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **1 流動負債** | | | | | | |
| 事業未払金 | 別紙明細 | ー | | | | 11,564,963 |
| 1年以内返済借入金 | 独立行政法人 福祉医療機構 | ー | | | | 1,128,000 |
| 職員預り金 | 社会保険料、源泉所得税等 | ー | | | | 0 |
| 賞与引当金 | | ー | | | | 1,922,000 |
| 流動負債合計 | | | | | | 14,614,963 |
| **2 固定負債** | | | | | | |
| 設備資金借入金 | 独立行政法人 福祉医療機構 | ー | | | | 1,974,000 |
| 固定負債合計 | | | | | | 1,974,000 |
| 負債合計 | | | | | | 16,588,963 |

| | |
|---|---|
| 差引純資産 | 301,179,708 |

## 寄附の御礼

日頃より当法人の活動に対してご理解並びにご協力、そして温かいご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。
2023（令和5）年度に法人本部並びに各事業所に頂きましたご寄附につきまして、下記の通りご報告させていただきます。
なお、個人情報保護の観点から、個人のお名前についてはご紹介を控えさせていただきます。ご了承ください。

【個人】
個人の方から２３件のご寄附をいただきました。

【団体】
社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京善意銀行　様
グローリージャパン株式会社　様

# 福祉サービスに関する苦情解決の取り組みについて

社会福祉法人日野市民たんぽぽの会では、経営する各事業の福祉サービスについて「利用者個人の権利を擁護すると共に利用者が福祉サービスを適切に利用することができるように支援する」「社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で対応を図り、円滑、円満な解決の促進や法人の信頼や適正性の確保を図る」を目的とし、苦情解決に努めています。
「福祉サービスに関する苦情解決のための規約」に則り、解決に向けて対応させていただいた内容をご報告申し上げます。
なお、公表にあたっては個人情報やプライバシーに十分配慮し、申出人が不利益とならないものとさせていただきます。

【　報告　】

2023（令和 5）年度は、苦情解決の取り組みへの申し出の受付はありませんでした。

# 社会福祉法人日野市民たんぽぽの会
# 役員紹介

| | |
|---|---|
| 【 理事長 】 | 野田 清大 |
| 【 理　事 】 | 青柳 ルミ子 |
| | 新家 美和 |
| | 近藤 直子 |
| | 宮城 賢太 |
| | 結 一純 |
| 【 評議員 】 | 伊藤 ゆりか |
| | 笠井 尚美 |
| | 木下 菜摘 |
| | 鈴木 久子 |
| | 立川 雅一 |
| | 樋口 義子 |
| | 山岸 啓子 |
| 【 監　事 】 | 飯森 慎 |
| | 大貫 格 |
| 【評議員選任・解任委員】 | 大塚 喜久子 |
| | 大貫 格 |

※50 音順

※2024 年 9 月現在

# 法人各事業所連絡先

社会福祉法人　日野市民たんぽぽの会　本部
〒191-0031　日野市高幡 864-15
Tel　042-599-7299　　Fax　042-599-7203

就労継続支援 B 型事業所　たんぽぽたかはたセンター
〒191-0031　日野市高幡 864-15
Tel　042-599-7299　　Fax　042-599-7203

就労継続支援 B 型事業所　たんぽぽひのセンター
〒191-0001　日野市栄町 2-17-1 都営日野栄町二丁目アパート 2 号棟 1 階
Tel　042-581-3072　　Fax　042-511-3294

就労継続支援 B 型事業所　くつろぎ
〒191-0011　日野市日野本町 2-5-33
Tel　042-587-4868　　Fax　042-587-4869

地域生活支援センターゆうき
〒191-0031　日野市高幡 864-15
Tel　042-591-6321　　Fax　042-599-7203

共同生活援助（グループホーム）ヴィレッヂたんぽぽ
〒191-0031　日野市高幡 864-15
Tel　070-7424-5630

障害福祉サービス　居宅介護事業所　うぃず
〒191-0031　日野市高幡 864-15
Tel　042-599-7299　　Fax　042-599-7203

介護保険　訪問介護事業所　ﾍﾙﾊﾟｰｾﾝﾀｰうぃず
〒191-0031　日野市高幡 864-15
Tel　042-599-7299　　Fax　042-599-7203

機関紙「幡」　vol.28

発行日　2024(令和6)年10月31日
監　修　機関紙「幡」編集委員会
発　行　社会福祉法人日野市民たんぽぽの会

〒191-0031　日野市高幡864-15
Tel 042-599-7299　Fax 042-599-7203